
こどもまんなかワークショップ時点報告

【実施概要】

目的

こども・若者から意見を継続的に聴く体制づくりの検討資料等

対象者

市内在住・在学の中学生～大学生世代

参加者数

8人

開催日時

令和8年1月19日(月)

開催方法

3グループに分け、対面による意見交換

開催場所

柏市子ども・子育て支援複合施設(TeToTe)5階 中高生の広場

【ワークショップのテーマ】

- ・こども・若者の声が聴かれるまちづくり
- ・こども・若者たちの身近な相談先とは

【今後の予定】

- ・意見のとりまとめ、こども家庭庁への報告書の作成
- ・意見聴取の内容は、計画書の「(仮)みんなの声」として反映
- ・結果については、次年度以降の意見聴取の取組等に活用

【留意事項】

意見は整理途中であり、今後分類・精査を行う予定

【主な意見（概要）】

こども・若者の声が聴かれるまちづくり

- こどもの声が聴かれていると思う？
 - ・聴かれたという経験をした記憶がない。
 - ・意見を主張しないといけないという場面があまりなかった。
 - ・参加をするのに勇気がいる。意見があっても、参加することにハードルがある子もいる。
 - ・機会があれば言えるし、考えると思うが、発言の不得意があると思う。

- どんな場所・人なら意見を言いやすい？
 - ・SNS
 - ・学校（授業で扱う）
 - ・顔が見えない人（履歴が残らないほうが安心）
 - ・同じ年代（友だちになれるかも。ジェネレーションギャップが少なそう。）

こども・若者たちの身近な相談先とは

- 相談したいと思える人・場所は？
 - ・保健室の先生
 - ・友達
 - ・SNSのコミュニティ（X, LINE, インスタ DM）
 - ・カウンセラー等の資格を持つ大人（チャット等で相談）

- 相談に求めていることは？
 - ・平等に接してくれる。
 - ・客観性がある。
 - ・遠慮なく伝えてくれる（本音を伝えてくれる）。
 - ・励ましが多すぎないのがよい。